

スポーツ振興について(2)

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実について

1. 今年度の取組方針

コロナ禍の影響等から、体育の授業以外に運動時間が減る一方で、ゲーム機やスマートフォンなどを使用する時間が増えるなど、運動機会が減り体力低下が懸念される中、感染症対策を行いつつ子どもの体力向上に向けて、運動やスポーツをすることの大切さを伝えるとともに運動の楽しさを実感し、運動する習慣の定着に繋がるよう体育授業の工夫・改善をはじめとする取組を進める。

2. 主な取組

(1) 幼児期の運動遊び促進

幼児の運動能力等調査により実態を把握し、幼児期運動指針に基づいた運動遊びを推進する。また、指導者研修会の実施や実践事例集による運動遊びの促進を図る。

(2) 子どもの体力向上推進

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、本県の小5・中2男女の体力合計点は、全国と同様に令和元年度に比べて低下した結果となった。

子どもの体力向上を図るため、子どもの運動やスポーツに対する愛好的態度を育て、興味関心を持って進んで取り組めるよう、運動機会の充実や体育・保健体育科の授業の工夫や改善、指導力の向上に努める。

< 授業協力者(外部指導者等)の派遣、実技研修、授業研究、全国学校体育研究大会等 >

(3) 部活動に関する事業・取組

部活動指導員の配置

顧問の教員と連携して技術的指導を行う外部人材を部活動指導員として配置し、教員負担の軽減とともに生徒が専門的な指導を受けることで技能や意欲の向上へ繋げていく。

< 運動部配置数(予定) 中学校:62名、高等学校:35名 >

休日部活動の地域移行に係る実践研究

中学校等の運動部活動を取り巻く状況を踏まえ、国において示された中学校の休日部活動の段階的な地域移行に向けて、県内2地域において地域人材や運営団体の確保等に関する実践的な研究を行う。

(4) 中体連・高体連活動振興事業補助

県中体連、高体連等が開催する各種体育大会による生徒の日頃の練習の成果や活躍の場の確保に努めるとともに体育・スポーツ活動の充実・振興に繋げる

(5) 全国中学校駅伝大会の開催

希望が丘文化公園を主会場として開催する全国中学校駅伝大会（例年 12 月に実施。令和 2 年度は中止）について、令和 5 年度までは本県での開催計画となっており、次代を担うジュニア世代の育成を図るとともに湖国滋賀の発信に繋げる大会とする。

3 . 第 79 回(2025 年度)国民スポーツ大会に向けた取組

- 文化スポーツ部（国スポ・障スポ大会局）のターゲットエイジに対する事業実施に協力し、中学校、高等学校の現場の声を聞き取り、連携の強化に努める。
- 2025 国スポ強化拠点校については、指定を受けた部活動の顧問と競技団体との連携を密にし、学校として活動支援に努める。